

# 広島県子供議会だより

## 令和2年度



### 広島県子供議会を開催しました。

これからの未来をつくる子供たちが、社会に関心を持ち、よりよい社会をつくるために何ができるかを考えるきっかけとするため、県と県議会が主催して「広島県子供議会」を開催しました。

県内の小学校5年生から中学校3年生までの35人の子供議員が、県や県議会の役割などを学んだ後、「10年後の広島県が〇〇じゃたらええのになあ」というテーマでアイデアを出し合い、みんなで議論して、質問や提案にまとめました。

新型コロナウイルスの感染防止対策のため、お互いに距離を保ちながら、アクリル板越しの勉強会となり、話し合いが思うに任せないこともありましたが、事前の準備と粘り強い取組で、なんとか子供議会本番を迎えることができました。

当日は、県議会議員が実際に見守る中、湯崎知事や平川教育長などを相手に、みんな大きな声で堂々と質問し、答弁を受けました。

閉会時には、湯崎知事から、「広島県の未来のために一生懸命考えて、しっかりと、この議場で発言していただいた姿を見て、とてもたのしく感じました。

みなさんの意見や提案をしっかりと受けとめて、大いに参考にさせていただきたいと思います。」と、今後の子供議員に期待する言葉がかけられ、また、中本議長から、「みなさんの立派な姿を見て、県議会議員としてみなさんに負けないよう、そして、県民のみなさまのために全力でがんばっていこうと改めて思いました。子供議会での経験を生かして、今後もさまざまなことに興味を持ち、チャレンジしていただきたいと思います。」と、激励の言葉がかけられました。

終了後、子供議員からは、「議会や政治が身近に感じられるようになった。」「議会で発表するのはとても緊張したけどよい経験になった。」「知らない子ばかりで緊張していたけれど、子供議会を通じて交流できてよかった。」「議員の皆さんから色々な話を聞いてとても勉強になった。」「グループで意見を一つにまとめて発表することができてよかった。」などの声がよせられ、みんな達成感にあふれた表情をしていました。

令和2年11月7日

### 任命式



子供議員の代表者が、中本議長から任命書を、安井副議長から子供議員バッジを交付されました。

日時 11月7日(土)  
場所 県議会議場

### 議員交流会



6つのグループに分かれて、普段あまり関わる事のない県議会議員に色々な質問をしました。

日時 11月7日(土)  
場所 県議会委員会室

### 勉強会



質問や提案を作成するための勉強会を2回行いました。最初は緊張しましたが、希望する分野ごとのグループに分かれ、現在の状況や10年後の広島県について議論するうちに、すっかりうちとけて、笑顔や会話が生まれ、いろいろな意見が出てきました。



県職員からアドバイスをもらって質問をまとめていきました。ソーシャルディスタンスをとりつつ、本番に向けたリハーサルもしっかり行いました。

日時 9月12日(土)・10月10日(土)  
場所 広島国際会議場・県議会議事堂

### 参加した子供議員の感想

議会や政治が身近に感じられるようになった。

議会で発表するのはとても緊張したけどよい経験になった。

知らない子ばかりで緊張していたけれど、子供議会を通じて交流できてよかった。

議員の皆さんから色々な話を聞いてとても勉強になった。

グループで意見を一つにまとめて発表することができてよかった。

制作・発行 広島県 広島県議会

お問い合わせ  
〒730-8511 広島市中区基町10番52号  
広島県環境県民局県民活動課  
TEL 082-513-2740  
E-mail kankatsudo@pref.hiroshima.lg.jp

※子供議会の模様は、YouTubeで配信しています。

広島県議会事務局議事課  
TEL 082-513-4731  
E-mail gikaigiji@pref.hiroshima.lg.jp





## ◆平和・地域振興グループ

- 廿日市市立阿品台東小学校
- 小松 虎ノ介 議員
- 福山市立神辺小学校
- 藤井 禾蓮 議員
- 海田町立海田南小学校
- 磯本 心優 議員
- 東広島市立志和中学校
- 和田 宗也 議員
- 東広島市立中央中学校
- 宗岡 実優 議員
- 東広島市立志和中学校
- 星野 琥太郎 議員



## ◆学校・教育グループ

- 広島市立中筋小学校
- 川口 菖 議員
- 福山市立駅家北小学校
- 藤原 愛理 議員
- 廿日市市立佐方小学校
- 前田 琉仁 議員
- 廿日市市立廿日市小学校
- 高砂 奈瑠美 議員
- 廿日市市立大野西小学校
- 荻村 晃規 議員
- 福山市立樹徳小学校
- 山田 高裕 議員



## ◆交通・街づくりグループ

- 広島市立五日市中学校
- 小田 暖道 議員
- 福山市立戸手小学校
- 塩田 帆夏 議員
- 世羅町立世羅小学校
- 野間 桃花 議員
- 広島市立段原小学校
- 小法師 楓 議員
- 海田町立海田小学校
- 中山 慶太 議員
- 福山市立福山中学校
- 土肥 紗代子 議員

**質問** 被爆体験の継承(けいしょう)のため、被爆者の証言映像を記録しておき、記録した姿を立体映像で再現し、人工知能・AIの活用により質疑応答ができる取組をしてはどうでしょうか。

**答弁** 被爆者の高齢化が進み、被爆体験の継承が難しくなる中、立体映像や人工知能などの新しい技術を取り入れることで、将来にわたって被爆者の声が広く効果的に継承されるよう、国や広島市と協力して取り組んでまいります。  
若いみなさんには、核兵器(かくへいき)のない平和な国際社会実現のため、平和について学んだことを生かし、将来、国内外の様々な分野で活躍(かつやく)していただきたいと考えています。

### 被爆体験の継承

**質問** 平和学習において、原爆に関するだけでなく、戦争と平和についての全般的な内容をバランスよく扱ってはどうか。また、学年によりテーマを設け、毎年異なる学習をできるようにしてはどうでしょうか。

**答弁** 県教育委員会ではワールドピースゲームという体験型プログラムを実施したり、「郷土ひろしまの歴史」を作成・配付しています。  
今後も、児童生徒のみなさんが、国際協調と国際平和の実現に貢献できる人になれるよう、学校と一緒に取り組んでいきたいと思います。

### 平和学習のあり方

**質問** テレワークを進めるため、企業(きぎょう)に対しインターネット環境整備の支援金を出してはどうでしょうか。会社に行かなくても仕事ができれば、居住地の制約がなくなり、都市から地方、都市部から郊外へ移住する動きを後押しできるのではないかと思います。

**答弁** テレワーク導入の費用のほか、どのように活用したら効果的か、どう進めればよいかの相談などの支援をしています。  
県への移住については、希望にあった仕事があることが重要であるため、移住希望者のニーズにあう求人を探り紹介しています。移住先として広島県を選んでいただけるよう、地域の魅力を生かしたテレワーク体験事業やAI移住相談システムによる仕事や地域の紹介を行っていきます。

### テレワークの推進による地域振興

**質問** いじめに対応できるよう、ボランティアの方など、常にクラスに1人、大人がいて見守るようにしてはどうでしょうか。

**答弁** 常にクラスに1人大人がいることで、本当にいじめ問題は解決するのでしょうか。大人も子供も心を開いて話し合いによって皆が納得できる着地点を見出せる、そんな社会になればいいと思います。学校でもみなさんの力を結集して、いじめのない学校になるよう取り組んでみてください。

### ストレスのない学校づくり

性的マイノリティの人や寒いのが苦手という人もいるため、生徒一人一人が制服のスタイルを自由に選べるようにしてはどうでしょうか。  
少しでも快適にトイレを使えるよう、学校のトイレが常に清潔に保たれ、機能も充実されるよう取組を進めてはどうでしょうか。

制服は、各学校において定められていますが、児童生徒の皆さんが学校の中でおかしな、不思議だなと感じたときは、それを声に出してみたり、友達や先生と話し合ったりすることがとても大切なことだと思います。  
快適で利用しやすいトイレの環境確保はとても大切です。しかし、学校のトイレの改善(かいぜん)には多くのお金がかかることから、国からの交付金を生かし、順番に改善がはかられています。

**質問** 引越しなどで転校し、友達と離れずにすむよう、学校にいける範囲を広げたり、行きたい学校を自由に選べるようにするほか、通学費用の助成をしてはどうでしょうか。  
また、小学校への通学手段を選べるようにし、自転車通学を認めてはどうでしょうか。そのためにヘルメットの着用や交通安全教室を増やすなどの対策も行います。

**答弁** 学校は、児童生徒が自宅を出て学校で過ごし、自宅に戻るまで、安全を守らなければなりません。通学中に交通事故にあわないように、通学先は、道路や河川の地理的状況などを踏まえ、決められています。  
みんなが好きな学校を選んで、その通学費も支援すると、費用がかかるほか、クラスや先生の数も決められなくなり、様々な計画を立てにくくなることから、残念ですが、ご希望には添えないと思います。  
転校した学校で新しい友達をつくらうことも大切だと思いますので、新しい環境で積極的に自分の良さを発揮してはどうでしょうか。

### 通学先と通学方法の選択

**質問** 交通事故の原因として、車道や自転車道、歩道の区別がはっきりしないことがあるため、歩行者、自転車の専用レーンを増やすほか、歩道を広くしてはどうでしょうか。  
また、ガードレールを増やしたり、歩道や自転車道にカラーで色分けした舗装(ほそう)をして、運転する人が自然と意識してスピードを落としたり、高齢者や小さい子どもが交通ルールがわかるようにしてはどうでしょうか。

**答弁** ①幅の広い自転車歩行者道をつくり、自転車の通行エリアをカラー舗装する方法、②車道のはしにカラー舗装などとした自転車通行帯をつくる方法、③自転車専用の道を整備して、自動車、自転車、歩行者が通行するエリアを完全に分ける方法があり、③が事故の危険性を減らすのにもっとも効果的ですが、道路幅(どうろはば)が多く必要となるので、費用もかかります。そのため、現地の状況に応じて、①から③を適切に使い分け、安全に通行できる歩道や自転車通行レーンの整備に取り組んでいます。  
市町が策定する通学路安全プログラムに基づき、学校や地域住民の方などと通学路を点検し、危険性が高いところにガードレールを設置しています。

### 歩行者に優しいまちづくり

**質問** 交通渋滞(じゅうたい)をなくすため、右折・左折のレーンを増やしたり、信号と信号のつながりをよくしてはどうでしょうか。  
また、交通量自体を減らすため、自転車道を整備し、自転車に乗るのが楽しくなるような緑あふれる道にしたり、駐輪場の整備などをしてはどうでしょうか。

**答弁** 渋滞の激しい交差点では、右左折レーンを増やしたり、長さを伸ばすなどの取組を進めています。  
広島市や福山市など県内5エリアで、コンピューターによって交通量に応じて最適となるように信号機の青色時間の調整や隣同士の信号機の連携、右左折の矢印信号機を設置するなどの改良を行っています。  
交通量自体を減らすため、パーク&ライドを推進しており、駅近くの駐車場の情報をホームページに掲載しています。  
また、自転車通行帯の整備や駅などの周辺に駐輪場を整備するなど、自転車を利用しやすい環境づくりを進めています。

### 交通渋滞のないまちづくり



## ◆防災・環境自然グループ

- 近畿大学附属広島中学校東広島校
- 好本 栄央 議員
- 広島市立可部小学校
- 木村 真緒 議員
- 広島市立段原小学校
- 大谷 美穂 議員
- 福山市立宜山小学校
- 岡本 宙 議員
- 福山市立宜山小学校
- 大越 羽空斗 議員
- 福山市立東朋中学校
- 徳永 要 議員



## ◆福祉・防犯グループ

- 福山市立城北中学校
- 新田 晟 議員
- 福山市立福山中学校
- 小田 啓弘 議員
- 広島市立戸山小学校
- 瀬川 萌乃香 議員
- 廿日市市立佐方小学校
- 竹内 悠花 議員
- 東広島市立西条小学校
- 貫里 倅帆 議員



## ◆観光グループ

- 福山市立宜山小学校
- 岡崎 帆香 議員
- 尾道市立久保小学校
- 村上 寛太 議員
- 福山市立御幸小学校
- 中田 安利彩 議員
- 福山市立神辺小学校
- 小川 真奈 議員
- 福山市立深津小学校
- 新田 眺 議員
- 東広島市立西条小学校
- 大坪 由希実 議員

**質問** 災害の危険があるときに避難(ひなん)しやすくするため、避難所に子供連れや高齢者、障害者でも過ごしやすい設備が整っているか、ペトといっしょに避難できるかなどの情報を記載したハザードマップの作成やホームページへの掲載(けいさい)をしてはどうでしょうか。また、避難所にテントを整備するなど、プライバシーに配慮した環境改善を行ってはどうか。

**答弁** 授乳室(じゅうりゅうしつ)や障害者用トイレの設備環境、ペット受入が可能かなどを調査・集計して、県内全市町の状況を県ホームページに掲載する予定のほか、避難所の混雑状況をスマートフォンやパソコンの地図上でリアルタイムに発信する仕組みの構築検討を進めています。  
避難所の運営主体である市町は、テントの活用や段ボール間仕切りによる生活スペースの確保、エアコン設置など設備環境の改善を進めており、県も感染防止対策に必要な資材を市町に配付しています。  
自身の防災行動計画である「ひろしまマイ・タイムライン」を家族で話し合っ作製し、いざという時の早めの避難行動につなげていただくようお願いいたします。

### 避難所(ひなんしょ)の改善

**質問** 再生可能エネルギーの普及(ふきゅう)を進めるため、県庁舎や公共施設で使う電力は、再生可能エネルギーで発電を行う事業者から購入(こういん)してはどうでしょうか。また、東京都などが行っている、一般家庭に対して再生可能エネルギーによる電力購入希望者を募り、みんなの需要をまとめることで価格をおさえ、購入を促す取組を、広島県でもしてはどうでしょうか。

**答弁** 県内6か所に大規模太陽光発電施設を整備するとともに、西部子ども家庭センターと東部運転免許センターに太陽光発電設備を設置しています。  
県が使用する電力の購入には税金が使われていることから、広く事業者を募集し、一番低い価格を示した事業者と契約する「入札」が原則となっています。この原則を守りながら、再生可能エネルギーの導入促進(どういんそくしん)に取り組んでいきます。  
東京都などが行っている取組は、県内で多くの利用希望者を見つけること、希望者を取りまとめて電力販売事業者と専門的な交渉を行う民間事業者を見つけることが大切であり、今後実現に向けた調査を進めていきます。

### 再生可能エネルギーの普及

**質問** 住んでいる地域などの犯罪発生状況を地図で確認できたり、近くの警察署や交番の案内、防犯ブザー機能、特殊詐欺(さぎ)の学習コンテンツなどを備えた防犯アプリを開発し、無料で提供してはどうでしょうか。

**答弁** 県警では、メールマガジンやテレビ、SNSなど、いろいろな広報手段をつかって情報発信を行っています。防犯アプリは、東京都ほか4県が実施しており、県警察でも、防犯ブザー機能やちかん対策機能なども持たせた防犯アプリの導入を検討しているところです。

### 防犯アプリの開発

**質問** インターネットやSNSサービスで、子供が加害者や被害者になる可能性が高くなっているため、情報モラル教育の機会を増やしてはどうでしょうか。

**答弁** 日頃から身近なニュースを取り上げて友達同士や家族で話し合うなど、自分事として情報モラルについて考えることや、児童会・生徒会でルールをつくることも有効なので、取り組んでみてください。

### 情報モラル教育

**質問** 児童相談所など相談先の相手がどんな人かわかり、安心して相談できるように、相談員の方に学校を訪問してもらい、生徒に呼びかけてもらってはどうか。また、オンラインミーティングで相談できる窓口を設置してはどうでしょうか。

**答弁** 教育委員会と連携し、児童相談所の職員が学校の先生に対し研修を行うほか、学校等に出向いて、直接子供に話をする体制を確保しています。  
また、相談機関として県内3か所に設置している児童家庭支援センターにおいて、オンラインでも相談できる取組を、令和2年9月から始めています。  
児童相談所や市役所・町役場、警察、民間の相談機関など、さまざまな機関が協力してみなさんをまもっていきます。

### 子供への虐待

**質問** 高齢者施設と保育施設を併設(へいせつ)し、日常的に交流を行うことで、高齢者が、より生きがいを感じられるような施設となるように働きかけてはどうでしょうか。

**答弁** 高齢者と子供が一緒に活動することにより、施設内の雰囲気や和らぎ、利用者の自立につながる一方、感染症(かんせんしょう)や、高齢者の薬を子供が飲みリスク、職員に介護と保育の両方の専門知識が必要となるなど、課題もあることから、市町や事業者が先進事例を情報提供しながら、誰もが住み慣れた地域で生き生きと暮らせる社会づくりに取り組んでいます。

### 施設に入所している高齢者への対応

**質問** コロナ禍(か)により広島に戻ってこれない人に元気を与えるとともに、広島イメージアップにつなげるため、広島ならではの曲を広島弁でつくり、広島県をPRする動画を作成して発信してはどうでしょうか。

**答弁** 多くの人に曲が愛されるには、県主導で曲を制作するのではなく、広島にゆかりのある方々の発意により、広島愛が曲という形になって表現されることが一番いいのではないかと思います。そうした広島愛を抱いていたいただけるよう、広島県の価値を共有することから始めてまいります。

### 広島のみんを元気にする曲の制作

**質問** 備後地区にある神辺本陣や廉塾などの観光資源を他の名所と組み合わせるドライブコースを設定したり、福山藩主の大名行列を輛の浦等で実演し体験できるようにすれば、新たな観光資源となるのではないのでしょうか。

**答弁** 県では、これまで知られていない魅力(みりょく)を発掘し、観光客のみならず、よごんでいただける観光メニューの開発に取り組んでいます。  
お住まいの地域の魅力をどんどん発信し、情報をお寄せいただきたいと思います。いただいた情報も参考に、広島県観光公式サイト「ひろしま観光ナビ」などを通じて発信し、何度も訪れて楽しんでいただける観光地づくりに取り組んでまいります。

### 備後地区の観光資源の活用

**質問** 観光案内カフェをつくり、インターネットや観光ガイドにはない穴場スポットを地元の人を紹介し、カフェで広島ならではの料理を提供すれば、広島県をPRすることもできるのではないのでしょうか。

**答弁** 県内のカフェ併設の観光案内所や道の駅の観光案内所では、地元食材を利用した食事の提供等を行っているところもあります。  
また、「ひろしま観光ナビ」による魅力発信や、「ひろしまブランドショップTAU」で県産品の販売やお好み焼きなどの食事の提供を行っているほか、観光資源の発掘や開発に取り組む、観光客に楽しんでいただけるメニューとして磨き上げていくこととしています。  
引き続き、地域の食も含めた地元ならではの情報の発信に積極的に取り組んでまいります。

### 観光案内カフェによる地元のおすすめスポットの紹介